

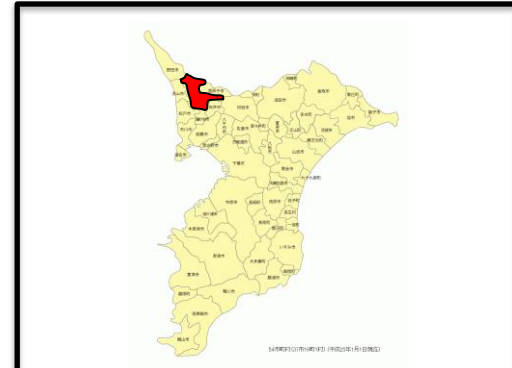
平成28年度 柏市地域公共交通活性化協議会 (千葉県柏市) (地域公共交通調査事業)

概要

○公共交通の概況

柏市における公共交通は、鉄道がJR常磐線、東武野田線、つくばエクスプレス線の3路線、また、バス交通に関しては東武バスイースト、阪東自動車、松戸新京成バス、ちばレインボーバス、並びにタクシー事業として11社(法人タクのみ)が運行している、また、その他本市が主体に乗合ジャンボタクシー及びデマンド型の相乗りタクシーを運行している。

柏市ではこれまでも交通施策を進めてはいるが、市縁辺部などにおける交通空白地域の解消には至っておらず、また、生産年齢人口の減少など交通を取り巻く環境の変化を背景に一部バス路線の減便や系統廃止が発生するなど市街地においても交通不便な状況が生まれつつある。



面積	114.74 km ²
人口 (H28.4.1時点)	410,033人
15歳未満	54,080人
65歳以上	100,743人
高齢化率	24.57%
世帯数	177,187世帯

計画策定調査の必要性

柏市の交通施策は、平成18年策定のバス交通網整備計画に基づき取組を進めているが、策定から10年が経過することで市民ニーズに答えられていない状況にあるとともに、今後の高齢化社会への対応としてコンパクトなまちづくりに向けた立地適正化計画を取り纏めることとしており、まちづくりの根幹をなす交通計画を併せて進める必要がある。

計画の策定に当たっては市民ニーズを十分把握して進める必要があるが、平成20年度を最後に全市的な交通実態の調査を行っていないことから、新たな計画策定に向けては市民の声を的確に掴む必要がある。また、今後のまちづくりを進める上では持続可能な交通体系を構築しなければならず、将来の需要動向などの検討も欠かせないことから、計画策定に向けての当該調査を実施したものである。

協議会開催状況

○協議会の開催状況 3回開催

- ・第1回(8月9日)
調査事業の実施について
- ・第2回(12月21日)
各種調査の結果概要及び将来需要予測について
事業評価について
- ・第3回(2月開催予定)
調査事業の取りまとめ報告

調査の内容

- ①地域公共交通現状把握
都市概況及び、市内公共交通の実態把握
- ②交通ニーズ確認
市民、来訪者等WEB及び紙アンケートの実施、交通事業者への市民要望等確認
- ③将来交通需要の予測
PTデータ及びバスICデータ、及びSPデータ(バス利用者アンケート)を活用した需要予測
- ④地域公共交通活性化協議会の開催
年3回開催

調査事業の結果概要

市内公共交通の現状及び住民ニーズ、および今後のまちづくりを踏まえた、地域公共交通網の形成に向けて、検討の方向性を取り纏めた。

生活交通ネットワーク計画等の計画策定の方針

- ・柏市地域公共交通網形成計画は平成28年度及び29年度の2カ年で策定を進めることとしている。今年度の調査結果を受け、柏市が並行して検討を進めている立地適正化計画との整合を図りながら、具体的な施策を位置付けた上で計画を取り纏めていくこととする。

次年度以降の取組概要

- 網形成計画策定に向けての検討実施
- ・基本方針及びネットワーク検討
 - ・施策メニュー検討
 - ・目標設定

将来的な公共交通ネットワーク概念図(イメージ)

